

平成15年度

財団法人8020推進財団歯科保健活動助成事業報告書

『自閉症児に対する歯科保健指導』

平成16年3月

財団法人サンスター歯科保健振興財団

目 次

1. 事業の目的

2. 事業内容

全体の流れ

1) 実施組織とその役割分担

2) 自閉症児に対する基礎知識の把握…専門教育

3) 療育方法（TEACCHプログラム）の知識と実技の習得…専門教育

4) 自閉症児への歯科保健指導

- 4) -1 A君・B君・C君の指導目標の選択、IEPミーティング（関係者会議）、指導目標の決定指導課題、指導方法の選択の結果

5) 障害児の保護者に対する歯科保健に関するアンケートの実施

- 6) 実施報告会
 - ・自閉症児の保護者・校医を含む学校関係者への報告会
 - ・高槻市養護部会への報告会
 - ・高槻市内の小・中学校の障害児担当教諭への報告会

7) 費用明細

3. まとめ及び今後の展開

4. 資料

自閉症とは…

親の育て方や「いじめ」等による心因性のものではない生涯にわたる障害。先天的な脳の障害による発達障害でコミュニケーションの発達の質的な障害、社会性の発達の質的な障害、興味・関心の偏りが見られる。発症は早期で3歳以前。言語より、視覚で状況を理解する。

支援の目標…

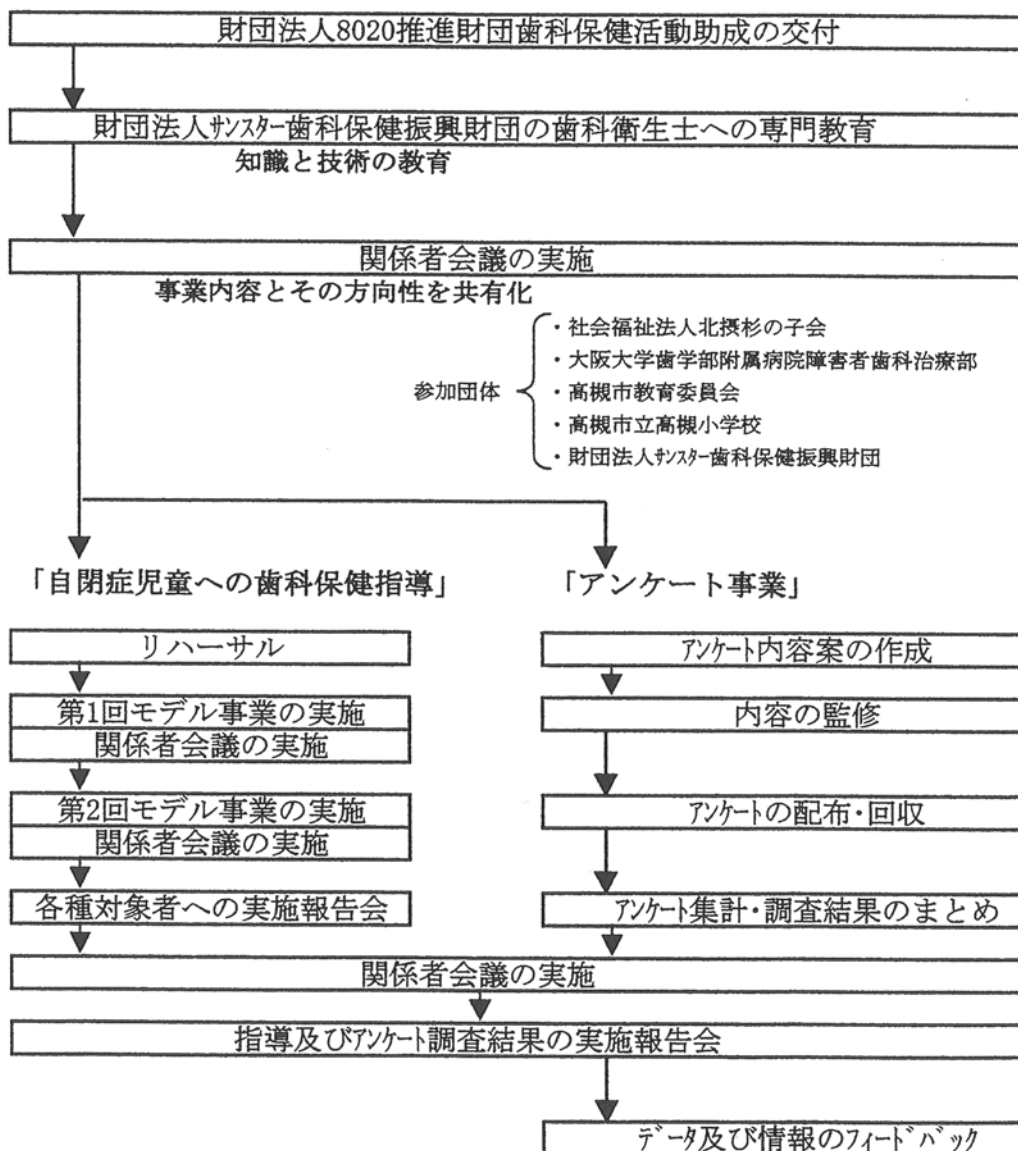
自閉症の人たちの強みである「視覚的に理解する力」を指示書等を用いて育てることによって自立性を増大させ変化に対する柔軟性を育てることができるようになる。

1. 事業の目的

知的障害のある子供のうち、特に初めての経験に困難を示す自閉症の子ども達に対して、口腔衛生の専門家である歯科医師・歯科衛生士と自閉症支援の専門療育スタッフと養護教諭及び障害児教育担当教員が、それぞれ3分野の研究成果を結集して障害のあるこども達の歯科衛生の向上を図るものである。

本事業はモデル事業として展開するものであるが、これまで、こだわりが強く、歯磨きに対して不安をもっていた自閉症児が、本事業により手順を踏まえて丁寧に指導することで歯磨き習慣が確立できることを明らかにし、ひいては、小中学校に在籍する障害のある児童生徒の口腔衛生指導の充実に資するものである。特に初年度は、この事業の基盤となる障害児の歯科に対する不満・不安・疑問のアンケートをとるとともに、いかに無理なく歯科疾患の予防を生活の中に組み入れられるかの可能性をモデル事業を通して検討する。

《全体の流れ》



2. 事業内容

1) 実施組織とその役割分担

- ・ 社会福祉法人北摂杉の子会
障害児教育担当教員と連携のうえ、協力児童が口腔衛生指導を受けられるまでの児童への援助と本事業全般に対して指導を行なう。
- ・ 大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部
本事業のスーパーバイザーを行なう。
- ・ 高槻市教育委員会
協力児童のプライバシー等個人情報の保護には十分配慮し、事業全般について各関係機関との調整を行なう。
- ・ 高槻市立高槻小学校
障害教育における本事業の意義を明確にししながら、協力児童が安心して口腔衛生指導を受けることができるよう十分な配慮を行なうとともに、協力児童の保護者との連携を図る。
- ・ 高槻市歯科医師会
本事業のアドバイザーを行なう。
- ・ 財団法人サンスター歯科保健振興財団
事前に療育専門スタッフ等より自閉症の特性理解と支援について研修を受け、自閉症児に対し歯磨きを中心とした口腔衛生指導の実技を行なう。

その他、アンケート内容の監修をいただいた団体

- ・ 知的障害者育成会 高槻手をつなぐ親の会
- ・ 高槻市立口腔保健センター

2) 自閉症児に対する基礎知識の把握…専門教育

- 平成15年7.8月 *高槻市立小中学校での療育方法の視察
- ・ 高槻市教育委員会主催
高槻市障害児教育担当教員トレーニングセミナー視察
7/31・8/1(三箇牧小学校)
8/21.22(高槻小学校)
- *文献の利用
- 9月・朝日新聞厚生文化事業団より
「自閉症の人たちを支援するということ」(本)
- 10月 *自閉症療育専門スタッフによる講義(10/2)
- ・ 社会福祉法人北摂杉の子会
大阪府自閉症・発達障害支援センター
センター長 新澤 伸子氏
「自閉症の理解と指導の実際」

3) 療育方法(TEACCHプログラム)の知識と実技の習得…専門教育

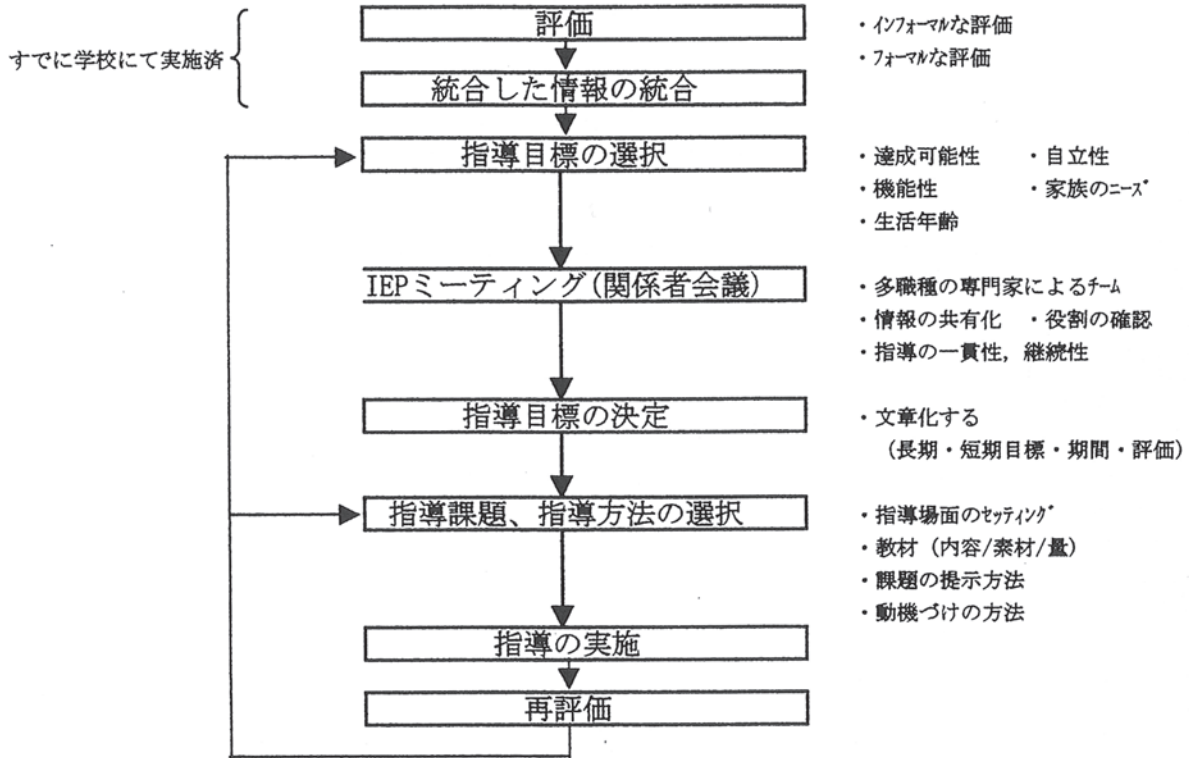
- 平成15年9月 *文献及びビデオの利用
- ・ 朝日新聞厚生文化事業団より
「自閉症の人たちへの援助システム」(本)
「親のためのTEACCHプログラム」(ビデオ)
- 10月 *自閉症療育専門スタッフによる講義(10/2)
- ・ 社会福祉法人北摂杉の子会
大阪府自閉症・発達障害支援センター
大澤 佳世子氏
「口腔清掃指導の視覚的支援-歯磨きシートの作成他」

4) 自閉症児への歯科保健指導(モデル事業の実施)

- 平成15年11月 *高槻小学校にて対象児童3名が決定(以下、A君・B君・C君とする)

A君	小学1年生	養護学級教室に在籍	自閉症
B君	小学3年生	養護学級教室に在籍	自閉症
C君	小学1年生	通級指導教室に在籍	高機能の自閉症

《評価から目標設定、指導への流れ》



4) -1 A君・B君・C君の指導目標の選択、IEPミーティング(関係者会議)、指導目標の決定指導課題、指導方法の選択の結果

A君： 現状と課題
 お口の中の歯の表裏かみあわせの各部位を磨く指導は現在行なっておらず、67°ロック(左上、右上、左下、右下、前歯上顎、前歯下顎)の指示書を使用。ブラシは決まった歯面にあたるのではなく流動的。課題分析の結果、絵でかかれた指示書はあまりみない。先生と一緒に声かけと動作を見ながら歯磨きを行なう。なぜ、磨かなければならないのか理解できていない。1カ所の歯磨き回数が数回のところがある。

↓指導目標の設定
 汚れを落とすことを理解させ、特にむし歯になりやすいかみあわせ4カ所と見えやすい前歯唇側の5カ所を磨けるようにする。

↓指導方法の設定
 指導用模型に黒いクッキーをつけ指示書をみながらブラシで汚れを落とさせる。次ぎに同じ指示書を使い、実際の歯につけたクッキーの汚れをブラシで落とさせる。

B君 現状と課題
 お口の中の歯の表裏かみあわせの各部位を磨く指導は現在行なっておらず、67°ロック(左上、右上、左下、右下、前歯上顎、前歯下顎)の指示書を使用。課題分析の結果、よく指示書はみているがブラシが歯面にあたる回数は少ない。絵でかかれた指示書は良くみている。

↓指導目標の設定
 歯には表裏かみあわせ等16カ所あることを伝えることにポイントをお

きの確にブラシを歯面に5回づつあてるようにする。

↓指導方法の設定

16ヵ所の指示書を準備するとともに歯科衛生士が模型で補助しながら磨かせる。

C君

現状と課題

C君のみ現在普通学級で教育を受けており、昼食後の歯磨きは行っていない。歯磨きは磨く順番もバラバラで総ての歯面は網羅していない。ブラシも歯面にも上手く当たっていない。回数も数回づつ。

↓指導目標の設定

歯には表裏かみあわせ等16ヵ所あることを伝えることと、歯垢染色剤を使って自らの汚れを確認し落とすことができるようにする。

↓指導方法の設定

歯には表裏かみあわせ等16ヵ所あることを伝えるための指示書を準備するとともに、歯垢染色液についての事前情報を確実に伝える指示書も作成する。

4) -2 詳細報告書 (実施場所: 高槻市立高槻小学校)

モデル事業 (指導の実施→再評価) を通して変化した各児童の指導目標と、指導方法の選択

別添 (DVD) *ただし、C君については保護者より映像をだす承諾は得られなかったため資料のみ

*事例報告A君

11月20日の報告

目標

なぜ、磨かなければいけないのか理解させる。
かみ合わせ4箇所と前歯が確実にみがけるようにする。

① A君がいままで使用していた指示書

6ブロック (左上、右上、左下、右下、前上、前下) のジグを使用。お口の中の歯の表裏かみ合わせの各部位を磨くという指導は現在には行っていない。

ブラシは、決まった歯面にあたるのではなく流動的。
課題分析の結果、絵でかかれた指示書はあまりみない。
先生と一緒に声かけと動作を見ながら歯磨きを行なう。
なぜ、磨かなければいけないのか理解できていない。
1個所のブラッシング回数が数回の場所がある。

② A君が11月20日に実施した1回目の指示書

汚れを落とすことを理解させ、特にむし歯になりやすいかみ合わせ4箇所と見えやすい前歯 (唇側) の6箇所を模型上で磨けるようにする。まず、歯磨きの勉強をすることを伝えてから、たべかす (クッキーのかすを糊付け) をくっつけた模型の5箇所を、指示書をみながら順番にハブラシで落とす。

③ A君が②の指示書を使って歯磨きをしている様子

初めに、歯磨きの勉強をすることを伝え、指示書の内容を説明。
(指示書の見方として、左から「汚れている」「歯磨きする」「きれいになる」ということを伝え、6ブロック終わったら終了であることを伝える。次ぎに、写真と同じ模型を出しハブラシで落とさせる。
→ 前日に準備した模型のたべかすに混ぜた糊が多すぎて上手くとれない。(糊は少しで優しくつけること…)
指示書と模型上の位置のマッチングは上手くできている。

④ A君が11月20日に実施した2回目の指示書

1回目と同じ指示書を使いながら、普段通り洗面所での歯磨きを行

なう。(うがい、ハブラシを洗う、口を拭く、タオル掛けにタオルをかけるを追加)

- ⑤ A君が④の指示書を使って歯磨きをしている様子
オレオ(クッキー)などの色の濃い粘着性のあるおやつを食べさせ、お口の中のたべかすを見せながら1回目のジグを使って汚れを落とす。
→ 実際は、オレオにはさまれているクリームだけを食べて、チョコのついたクッキーを食べた。その結果、口の中はチョコだらけとなる。指示書とハブラシの位置はマッチングしているが、口をみる鏡が大きすぎるため、他の刺激が強く注意がそれる。(A君が着ているシャツのバスの絵が気になる) うがいが上手くできていない。(できてもゴロゴロうがいとなる)

課題 模型の汚れを落とすことはよく理解できている。
模型で汚れを落とすという感覚が、実際の口を磨くときに結びついていない。鏡が上手く使えていない。口を開けずに磨く。まずは、大きな口を開けたままにできるような指示書をつくり鏡で見せるようにする。鏡をもつ、磨く前に鏡でみる、磨く、磨いた後にまた鏡でみるような指示書にする。2回目の歯磨きの際も、慣れるまでは洗面所での過去の習慣をとるために卓上で実施し鏡も小さなものに変えてみる。うがいができないのは、水を口に入れた時口を閉じることができないから? なんらかの指示書を作成する。うがいの練習も洗面所の前でなく卓上で行なうと我慢できるかもしれない。(うがいについては、12月4日実施状態を確認し1月の課題とする)

12月4日の報告

- ⑥ A君が12月4日に実施した1回目の指示書
汚れを落とすことを理解させ、特にむし歯になりやすいかみ合わせ4箇所と見えやすい前歯(表側)の6箇所を模型上で磨けるようにする。まず、歯磨きの勉強をすることを伝えてから、たべかす(クッキーのかすを糊付け)をくっつけた模型の6箇所を、指示書をみながら順番にハブラシで落とす。
- ⑦ A君が⑥の指示書を使って歯磨きをしている様子
初めに、歯磨きの勉強をすることを伝え、指示書の内容を説明。(指示書の見方として、「汚れているところを歯磨きする」「きれいになる」ということを伝え、6ブロック終わったら終了であることを伝える。次に、写真と同じ模型を出しハブラシで落とさせる。
→ 前日に準備した模型のたべかすに混ぜた糊は少しにしたが、奥歯の溝にA君がハブラシで押し込んでしまいとれにくくなる)
指示書と模型上の位置のマッチングは上手くできている。
11月20日以降まったく指導をおこなっていなかったが内容や模型がでてくること等、よく覚えている。
- ⑧ A君が11月20日に実施した2回目の指示書
11月20日2回目の指導と同じように、黒いクッキーをたべさせ汚れを見えやすくして、鏡と実際の口を磨いている写真の指示書を使って1回目と同じ部位の6箇所各5回づつの歯磨きを行なう。
- ⑨ A君が⑧の指示書を使って歯磨きをしている様子
洗面所ではなく、視覚的な刺激の少ない場所での実施のため、落ちついて指示書とお口のマッチングが行なえる。鏡を時々見ながら、指示書の通り大きな口を開けて磨くことができる。
特に、前歯の表は初めて毛先が歯面に直角に上手く当てることができる。しかし、口を大きく開けたことにより、奥歯のかみあわせにハブラシが当たっていなかったことがよくわかる。

課題 ⑧の指示書を使いながら6個所にハブラシが的確にあたるよう練習する。

1月22日の報告

⑩ A君が1月22日に実施した1回目の指示書

11月20日2回目の指導と同じように、6個所各5回ずつの歯磨きを2回行なう。但し、今回はおやつは食べずに磨く。12月の指示書の写真は前歯唇面、臼歯のかみあわせの部分をよくわかるように、少しずらし写真でしたが、今回はブラシが写真を的確に当たっている写真に変える。うがいについては、テーブル上でコップ4個に一口ずつの水をいれ①口に水をいれる②3秒口に水をためる③洗面器に水を飛ばさずに入れる。の指示書を使用する。

⑪ A君が⑩の指示書を使って歯磨きをしている様子

始めに、6ブロックを2回磨くことと、うがいをする事を伝える。が、説明が長くなり説明の中での終わり、支援の終わりがわからなくなる。歯磨きについては、12月のことを良く覚えており、また、鏡をみながら口を大きく開けるもののハブラシはあまり上手くはあつたていない。うがいについては、最初の1回は指示書通り上手く水をため汚水も洗面器に入れることができる。しかし、2回目は水を直接洗面器に入れるなど若干注意散漫となる。

前日から、風邪をひいておりかなり体調が悪く、2回目の支援は難しいと判断し中止。1回目の支援についても体調が悪い事がかなり影響したと思われる。

課題と目標	体調不良のため残念ながら十分な支援ができなかった。ただ、6ブロックの歯磨きを5回ずつ2回するよりも、A君にとっては6ブロック10回の方が負担が少ないのではと思われる。うがいについては、確実に水を口にためることができるようになっているので、まずはこの練習を重ね→回数を増やす→水を口の中でまわすへと進める。
-------	--

*事例報告B君

11月20日の報告

目標 歯列を16個所に分けて磨けるようにする。

① B君がいままで使用していた指示書

6ブロック（左上、右上、左下、右下、前上、前下）の指示書を使用。お口の中の歯の表裏かみ合わせの各部位を磨くという指導は現在行なっていない。

② B君が①の指示書を使って歯磨きをしている様子

課題分析の結果、絵でかかれた指示書はみている。ハブラシは、指示書通りに部位にはあつている。1個所のブラッシング回数が少ない。（6回の部位が多い）

③ B君が11月20日に実施した1回目の指示書

歯には表裏かみ合わせ等16個所あることを模型と指示書を使って説明し、実際に口にハブラシを入れて磨かせる。

④ B君が③の指示書を使って歯磨きをしている様子

16個所に的確にブラシをあてさせゴシゴシゴシゴシ・・・と声掛けをしながら歯磨き。歯磨き回数にはこだわらず、場所にあてるこ

とを目的とする。
→ 顎模型と模型用ハブラシをB君の前において指導を始めたため、初めに注意が模型に行く。隠しておくべきであった。
模型・指示書(後半は指示書のみをみる)をよく見て上手くハブラシをあてている。

- ⑤ B君が11月20日に実施した2回目の指示書
普段通り、洗面所の前で1回目の指示書を使って歯磨き。最後は、普段通りうがい、ハブラシを洗う、口をタオルでふく、タオルをフックにかけるところまで行なう。
- ⑥ B君が⑤の指示書を使って歯磨きをしている様子
左下舌側以外は、ほぼ指示書通りにハブラシを当てている。
回数的にも、指示はしていないがほぼ10回磨いている。

課題・次回への展開

うがいの指示書を作成する。各箇所10回磨くように指示書に入れる。

12月4日の報告

- ⑦ B君が12月4日に実施した1回目の指示書
11月の指示書に1個所の歯磨き10回の指示とうがいの指示が追加されている。
- ⑧ B君が⑦の指示書を使って歯磨きをしている様子
16個所の歯磨きは、ハブラシがまだ少し左下舌側にはあたりにくい
がそれ以外は指示書通りに歯磨きをおこなっている。
うがいの練習については、事前に追加されることについて伝えてい
なかったため普段通りのうがいとなってしまう。
指示書自体が細かく分かれすぎていて、先がよめない内容であった。
(特に一つの指示書で2人の男の子が左と右のホップタに水をいれて
ふくらませているうがいの絵は、なぜ2人なのか理解しにくくな
っていた)また、まわりの人数が多い、待ち時間が長いなどの気が
ちってしまう要因も重なってしまった。
- ⑨ B君が12月4日に実施した2回目の指示書
12月4日1回目の指示書を使って普段通り洗面所で行なう。
歯磨きに関しては安定しているが、うがいについてはうがいを行な
うことなど今日のポイントを伝えていないため1回目と同様普段の
がらがうがいとなる。歯科衛生士が指示書に視線を戻そうとするが
終わりの指示書が見えたため終了となってしまった。

今後の目標

16個所の歯磨きは11月20日以降1回も同じ指示書を使っていなかったのに、上手く磨いている。
今後はうがいに焦点をおく。(ステップ1として①水または空気を口
の中にいれる②水の量をきめて数秒間ためる…ステップ2として動
きをとまなう指示書を使用する)
*指示書の注意としては、人物の目、髪の毛など関係のないものは
めだたないように、逆に口元には唇をつける。

1月22日の報告

- ⑩ B君が12月4日に実施した1回目の指示書
うがいの指示書を、1枚の紙にまとめコップに一口分の水をいれた
ものを3つ準備し①水を口に入れる。②水を3秒間口にためる③洗
面器に水を入れるというものを準備。歯磨剤をなめないように指示

書を作成する。また、歯磨きとうがいがすべてできるようボード上に使用物品を配置する。

- ⑩ B君が⑩の指示書を使って歯磨きをしている様子
歯磨剤は指示書の通りなめなくなるが、今度はハブラシについて水を口で吸い取るようになる。
指示書の中の歯磨きの回数を読み上げるようになる。読みが上げながら磨くことはかなり難しい。ブラッシング圧が弱くなっている。
- ⑫ B君が12月4日に実施した2回目の指示書
⑩と同じ指示書を使用。
- ⑬ B君が⑩の指示書を使って歯磨きをしている様子
歯科衛生士は、後ろで見ているのみで支援はしない。
歯磨きについては⑩と同じ結果となる。うがいについては、1つのコップの水をもう一つに移して2回のみうがいをする。

今後の目標

歯磨きの回数は指示書にのせない。今後は汚れを赤く染め出しながら視覚的にわからせながら歯磨きを行なうようにする。

* 事例報告C君

11月20日の報告

目標 歯列を16個所に分けて磨けるようにするとともに、歯垢染色剤を使用して自ら汚れを確認し落せるようにする。

C君の歯磨きの現状

横浜で療育を受けていたが、ブラッシングについてはうけてはいなかった。現在、通級学級でブラッシングはおこなっておらず、磨く順序もバラバラですべての歯面は網羅していない。ブラシも歯面には上手くあたっていない。回数も数回づつ。

- ① C君が11月20日に実施した1回目の指示書
歯には表裏かみ合わせ等16個所あることを模型と指示書を使って説明し、実際に口にハブラシを入れさせ1個所10回づつ磨かせる。
- ② C君が①の指示書を使って歯磨きをしている様子
模型とハブラシで見本としてみせながら指導をするが、殆ど指示書をみながら歯磨き。指示書の通り、ほぼ的確にハブラシはあたっている。ただし、うがいはガラガラうがい。
また、鏡で確認しながら磨くことはしない。
- ③ C君が11月20日に実施した2回目の指示書
①の16個所の歯磨きをする前に、歯垢染色液で歯垢を染色し、磨き残しを確認させる。
事前情報として、むし歯のバイキンは目には見えない。バイキンを赤くそめるなどの情報を与える。
- ⑤ C君が④の指示書を使って歯磨きをしている様子
事前情報を記載した紙の文字を、一緒に読ませるが少し文が長いいため途中で注意が続かない。
→ 歯垢染色液については、前日担当教諭が染色しているのを見た時は、拒否反応を示していたが、事前情報を与えることにより落ち着いて実施できる。歯磨きは指示書通りに実施。
唇についての、赤い色が気になる。歯科衛生士が「後で色は取れます」と対応するが「あとで・・・」の理解が難しいために「学校から帰る

ころには」と言い換える。

課題・次回への展開

歯垢染色とむし歯予防の必要性の情報提供を端的に短くして、指示書と同じパウチにする。
情報提供の用紙の中の歯の王様の絵は不必要。的確な絵のみ入れる。指やハブラシが赤く染まっていることが気になる。→事前に状況説明する。指示書に記載していた内容もあったが字は小さく読んでいない。最後に、染色液が残っていないかどうかチェックする指示書を入れる。注意としては、どちらかという拒否をため込むほうである。今回の指導については「よくわかった、嫌じゃなかった」とのこと。

12月4日の報告

- ⑥ C君が12月4日に実施した1回目の指示書
歯には表裏かみ合わせ等16個所あることを模型と指示書を使って説明し、実際に口にハブラシを入れさせ1個所10回づつ磨かせる。
- ⑦ C君が⑥の指示書を使って歯磨きをしている様子
11月20日以降2回目の指示書での歯磨きであるが、ほぼ的確にハブラシはあたっている。
鏡で確認しながら磨くことは難しい様子。
- ⑧ C君が12月4日に実施した2回目の指示書
事前情報として、バイキンをハブラシで落せばむし歯にならないこと。バイキンは目には見えない、バイキンを赤くそめるなどの情報を指示書で与える。さらに、11月4日の課題であるぶくぶくうがいの指示書を入れる。
- ⑨ C君が⑧の指示書を使って歯磨きをしている様子
事前情報の文章を短くしたことと、予め声を出して磨くことを伝えていたためスムーズに事前情報は読める。
唇やハブラシについての赤い染色液もとれることを伝えたため動揺はみられなかった。
うがいについては指示書自体が細かく分かれすぎていて、先がよめない内容であったが、ひとつひとつ絵を見せると上手くブクブクうがいができるようになった。しかし、今後定着させるためには再度指示書の見直しが必要。

課題 指導内容のポイントを事前に伝える。
バイキンによりむし歯ができるというよりも、歯磨きはお口がきれいになる良い生活習慣であるという意識を持たせる。
指導のポイントとしては、
「磨かないとむし歯になる」ではなく「磨くときれいになる」
「10回みがかないといけない」ではなく「10回磨いた方がいい」とする。指示書をめくりやすく改良する。

1月4日の報告

- ⑩ C君が1月22日に実施した1回目の指示書
12月4日と同じ内容。ただ、うがいの指示書についてはまず3回することを文字で伝えてから指示書をもどして指導する方法を取る。また、めくりやすくする。
- ⑪ C君が⑩の指示書を使って歯磨きをしている様子
11月20日以降2回目の指示書での歯磨きであるが、ほぼ的確にハブラシはあたっているが、少し慣れてきている様子。

- ⑫ C君が1月22日に実施した2回目の指示書
1回目の指示書に歯の汚れを染め出す内容を追加する。
- ⑬ C君が⑫の指示書を使って歯磨きをしている様子
前歯唇側にハブラシが入らない。口内炎ができていた。

課題・次回への展開

内容をよく理解できているので、今後は指示書の枚数を少なくする。
今後はバイキンではなく、お口の汚れとし今は赤く汚れを染め出し
汚れを理解させるが、次のステップとしては爪楊枝で歯と歯の境目の
汚れをとり赤くそめださなくても、爪楊枝に汚れがついてくれば
歯磨きが不十分であることがわかるようにする。

- 5) 障害児の保護者に対する歯科保健に関するアンケートの実施
- ・平成16年1月配布・回収（配布約400枚、回収315枚）
 - 内容
 - ①歯磨きについて（回数・時間帯・介助・困ること）
 - ②食事と間食について（介助・好き嫌い・間食回数・間食で多いもの・食事間食にかかる時間・かむことについて）
 - ③歯科受診について（歯科受診の経験・受診した施設・治療結果・治療した方法）
 - ④その他、歯科保健に関する質問
 - ・アンケート結果（別添 資料）
- 6) 実施報告会
- ・高槻市養護部会への報告会
高槻市役所にて 参加者約40名（平成16年1月14日）
 - ・自閉症児の保護者・校医を含む学校関係者への報告会
高槻小学校にて（平成16年1月22日）
参加者 ・自閉症児保護者2名 ・高槻小学校歯科校医
・校長先生 ・障害教育担当教諭 ・高槻市歯科医師会
高槻市立口腔保健センター ・社会福祉法人北摂杉の子会
・サンスター歯科保健振興財団 計 15名
 - ・高槻市内の小・中学校の障害児担当教諭への報告会

7) 費用明細

平成15年度 事業の経費計画 2,200,000円

単位：円

内容	計画	実績
交通費	600,000	525,180
日当及び報酬費	500,000	429,156
歯科衛生士人件費	800,000	681,990
指導用教材及び備品	300,000	271,223
総計	2,200,000	1,907,549

*詳細明細 別添資料

平成15年度 事業推進経費助成交付予算 1,700,000円

実績差異 ▲207,549円

3. まとめ及び今後の展開

*実施組織における事業評価

(平成16年2月16日 高槻市役所 M-301会議室)

- ・社会福祉法人北摂杉の子会臨床心理士 新澤氏
今回のモデル事業のケースを増やし、資格支援を通じた歯科衛生士による支援プロを早急に養成し、さらに大きな地域への情報の開示をすすめるべきである。また今後は対象家庭に対しての支援もメニューに加え事業推進していく必要がある。
- ・大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部 森崎教授
今回のアンケート結果を含めた事業内容と現状を踏まえ行政、地域歯科医師会が連携し地域住民へ情報開示していくことが重要である。地域住民への講演も有効な手段の一つである。
- ・高槻市教育委員会 主幹 皆川氏
今回は一校でのモデル事業の実施であったが、今後は学校数を若干増やし対象児童数を増やすことにより全体へ広げるとともに特別支援事業とあわせて継続したい。
- ・高槻市立高槻小学校 障害教育担当教諭 春田氏
従来の支援の中で既に歯磨支援を行なってきたが歯科衛生士との協業により、プロの視点が理解できた。今後は、この内容を教諭間で共有したい。

<平成15年度のまとめ>

- ・口腔衛生の専門であるウスター歯科財団と自閉症療育の専門である社会福祉法人北摂杉の子会の協業で自閉症児の口腔衛生指導の展開に第一歩を踏み出すことができた。
- ・更に、大阪大学歯学部 森崎教授のスーパーバイズ、高槻市歯科医師会の理解と協力、学校における自閉症支援の充実を背景に役割分担と異業種間の協業の可能性を示唆した。
- ・児童への支援についても、細かい課題は有しつつも対象児童の歯磨きの定着にみれるようないい結果を残せた。
- ・アンケートとあわせて事業を展開したので、歯磨きの技術指導にとどまらず、口腔衛生全般、更に歯科受診のあり方も研究考察対象とし、事業内容を深めることができた。
- ・養護教員部会で、保健室の教員に取り組み結果の報告を行なうことにより、自閉症の理解について、学校内理解の一助とするとともに、今後の学校における養護学級担任等と養護教諭の連携の基礎を作った。

*今後の展開

- ・基本的にはこのモデル事業は継続するものと考え次年度については以下の通りの展開の方向とする。
- ・自閉症児の対象児の枠を広げることによる多種のケースに応じた口腔衛生の改善のためのスキルを身につける。
- ・アンケート結果には、歯科衛生、歯科受診とも深刻なものも多く、結果の公表とともに具体的対応が迫られている。
- ・今後の展開では、関係機関等と更に意見調整が必要である。(高槻市歯科医師会、高槻市立口腔保健センター、教育委員会保健給食課、高槻市障害教育研究会等)
- ・学校での歯磨きの定着とともに、家庭での歯磨きの定着ができるよう保護者に対する啓発や具体的指導についても支援したい。

以上

7) - 1 別添-費用の明細

(敬称略・★は東京在籍者)

内容	総計	備考	月日	職種	参加者	小計	業務時間	歯科衛生士人件費	小計	日当又は講師料他	交通費		
高槻市立三箇牧小学校 療育方法の視察	320,540	東京からの移動 サンスター歯科財団内関係者会議	7/30	歯科衛生士	武藤★	36,250	8	1,790	14,320	1,500	20,430		
				歯科衛生士	細井★	36,250	8	1,790	14,320	1,500	20,430		
				歯科衛生士	田村★	36,250	8	1,790	14,320	1,500	20,430		
				歯科衛生士	高稲	8,950	5	1,790	8,950	0	0		
				歯科衛生士	池田	8,950	5	1,790	8,950	0	0		
		視察研修	7/31	歯科衛生士	武藤★	23,650	8	1,790	14,320	1,500	7,830		
		歯科衛生士		細井★	23,650	8	1,790	14,320	1,500	7,830			
		歯科衛生士		田村★	23,650	8	1,790	14,320	1,500	7,830			
		歯科衛生士		高稲	15,820	8	1,790	14,320	1,500	0			
		視察研修		8/1	歯科衛生士	武藤★	30,370	8	1,790	14,320	1,500	14,550	
歯科衛生士	細井★	30,750	8		1,790	14,320	1,500	14,930					
歯科衛生士	田村★	30,180	8		1,790	14,320	1,500	14,360					
歯科衛生士	高稲	15,820	8		1,790	14,320	1,500	0					
高槻市立高槻小学校 療育方法の視察	47,880	視察研修	8/21		歯科衛生士	高稲	15,820	8	1,790	14,320	1,500	0	
歯科衛生士				池田	15,820	8	1,790	14,320	1,500	0			
歯科衛生士				池田	16,240	8	1,790	14,320	1,500	420			
教育本と教育ビデオの購入	6,270	「自閉症の人たちを支援するということ」 「自閉症の人たちへの援助システム」 「親のためのTEACCHプログラム」	9/17			6,270							
指導用教材及び備品	250,212	ハウスマネーター及びリモート ビデオ撮影用三脚 プリンター及びプリンター用インク他	9/25			41,756							
						3,990							
						65,247							
						94,500							
関係者会議 自閉症療育専門スタッフ による講義 「自閉症の理解と指導の実際」 「口腔清掃指導の視覚的支援」	378,508	東京からの移動 サンスター歯科財団内関係者会議	10/1	歯科衛生士	武藤★	37,570	8	1,790	14,320	1,500	21,750		
				歯科衛生士	細井★	37,460	8	1,790	14,320	1,500	21,640		
				歯科衛生士	田村★	38,040	8	1,790	14,320	1,500	22,220		
				歯科衛生士	高稲	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0		
				歯科衛生士	池田	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0		
		講師料・交通費(10月20日振込み)	10/2	臨床心理士	新澤	63,000				60,000	3,000		
		療育スタッフ		大澤	33,000				30,000	3,000			
		歯科医師		森崎	36,578				31,578	5,000			
		教育委員会		皆川	0				0	0			
		高槻小校長		福田	0				0	0			
教諭	春田他2名	0				0	0						
歯科衛生士	武藤★	32,070	8	1,790	14,320	1,500	16,250						
歯科衛生士	細井★	30,810	8	1,790	14,320	1,500	14,990						
歯科衛生士	田村★	30,180	8	1,790	14,320	1,500	14,360						
歯科衛生士	高稲	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0						
歯科衛生士	池田	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0						
高槻市立高槻小学校 対象児評価	131,120		11/4	歯科衛生士	武藤★	30,430	8	1,790	14,320	1,500	14,610		
歯科衛生士				細井★	29,860	8	1,790	14,320	1,500	14,040			
歯科衛生士				田村★	30,240	8	1,790	14,320	1,500	14,420			
歯科衛生士				高稲	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0			
歯科衛生士				池田	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0			
歯科衛生士				柴田	9,950	5	1,790	8,950	1,000	0			
歯科衛生士				高稲	5,370	3	1,790	5,370	0	0			
歯科衛生士				池田	5,370	3	1,790	5,370	0	0			
指導用教材				9,115	セッションガイドイカホルダー(こう合器) ニューブラストSP(石膏) 菓子 記録用ビデオテープ	11/13			4,175				
								3,675					
		501											
		764											
モデル事業リハーサル	228,520	東京から移動	11/18	歯科衛生士	細井★	14,950	4	1,790	7,160	0	7,790		
				講師料・交通費(11月28日振込み)	11/19	臨床心理士	新澤	33,000			30,000	3,000	
				教諭		春田他2名	0			0	0		
				歯科衛生士		武藤★	37,020	8	1,790	14,320	1,500	21,200	
				歯科衛生士		細井★	24,530	8	1,790	14,320	1,500	8,710	
		歯科衛生士	高稲	9,950		5	1,790	8,950	1,000	0			
		講師料・交通費(11月28日振込み)	11/20	療育スタッフ	大澤	33,000			30,000	3,000			
		教諭		春田他2名	0			0	0				
		歯科衛生士		武藤★	29,940	8	1,790	14,320	1,500	14,120			
		歯科衛生士		細井★	16,280	8	1,790	14,320	1,500	460			
歯科衛生士	高稲	9,950		5	1,790	8,950	1,000	0					
指導用教材	917	菓子 カードリング	11/28			817							
					100								
					12/3								
モデル事業第1回	235,478	講師料・交通費(12月19日振込み) 講師料・交通費(12月19日振込み) 講師料・交通費	12/4	臨床心理士	新澤	33,000			30,000	3,000			
				療育スタッフ	大澤	33,000			30,000	3,000			
				歯科医師	森崎	36,578			31,578	5,000			
				教育委員会	皆川	0			0	0			
				高槻小校長	福田	0			0	0			
				教諭	春田他2名	0			0	0			
				歯科衛生士	武藤★	37,460	8	1,790	14,320	1,500	21,640		
				歯科衛生士	細井★	36,560	8	1,790	14,320	1,500	20,740		
				歯科衛生士	田村★	43,060	8	1,790	14,320	1,500	27,240		
				指導用教材	389	記録用ビデオテープ	12/8			389			
		12/21											
モデル事業第2回	217,310	東京より移動 (細井のみ打ち合わせ) 講師料・交通費(2月20日振込み) 講師料・交通費(2月21日振込み)	1/21	歯科衛生士	武藤★	27,900	4	1,790	7,160	0	20,740		
				歯科衛生士	細井★	32,730	6	1,790	10,740	1,000	20,990		
				臨床心理士	新澤	33,000			30,000	3,000			
				療育スタッフ	大澤	33,000			30,000	3,000			
				教育委員会	皆川	0			0	0			
				高槻小校長	福田	0			0	0			
				教諭	春田他2名	0			0	0			
				高槻小校医	北村	0			0	0			
				保護者	3名	0			0	0			
				サンスター関係者	2名	0			0	0			
歯科衛生士	武藤★	29,520	8	1,790	14,320	1,500	13,700						
歯科衛生士	細井★	29,520	8	1,790	14,320	1,500	13,700						
歯科衛生士	高稲	15,820	8	1,790	14,320	1,500	0						
指導用教材	4,320	記録用ビデオテープ カードリング	1/22			4,200							
					120								
関係者会議	76,970	講師料・交通費(2月20日振込み)	2/16	臨床心理士	新澤	33,000			30,000	3,000			
				教育委員会	有馬	0			0	0			
				サンスター関係者	2名	0			0	0			
東京より移動	2/16	歯科衛生士	武藤★	29,650	8	1,790	14,320	1,500	13,830				
歯科衛生士		高稲	14,320	8	1,790	14,320	1,500	0					
総計	1,907,549					1,907,549	381	1,790	681,990	429,156	525,180		

障害のある子供に対する歯科保健実態調査の概要

平成16年1月調査

財団法人サンスター歯科保健振興財団

目 次

調査の概要

結果の概要

1. 被調査者数

表1 被調査者数(性・学年階級別)

表2 被調査者数(障害の分類別)

2. 歯磨きについて

表3 1日の歯磨き回数の状況

表4 歯磨きの時間帯

表5 毎日歯磨きをする者の歯磨きの組み合わせ

表6 歯磨きの介助の状況

表7 歯磨きの介助の方法

表8 歯磨きで困ること

3. 食事と間食について

表9 食事の介助の状況

表10 極端な好き嫌いの有無

表11 1日の間食の状況

表12-1 間食で多いもの(食べ物)

表12-2 間食で多いもの(飲み物)

表13 食事・間食にかかる時間の状況

表14 かんで食べる状況

表15 かむことができない理由

4. 歯科受診について

表16 過去の歯科受診の経験

表17 歯科受診をした施設

表18 歯科受診をしない理由

表19 各施設での治療状況

表20 治療結果と治療方法

5. その他、歯科保健に関する質問(要約)

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、障害のある児童の歯科保健に関する事項について、保護者から基礎的な情報を得ることを目的としている。

内容は、健康な身体づくりの基本的な分野である「歯科保健」をテーマとし障害のある児童の歯科疾患の予防の状況、食生活の状況、受療の状況、歯科医療に対する要望・質問などについて実態及び意識を把握し、今後の歯科保健対策の資料を得ることを目的とした。

2. 調査の対象及び客体

高槻市立小学校・中学校に在籍する障害のあるすべての児童を客体とした。

3. 調査の期日

平成16年 1月中旬に実施

4. 調査事項

障害の分類、歯磨きの状況、歯磨きの介助、歯磨きで困ること、食事の介助、好き嫌いの有無、間食回数とその内容、過去の歯科受診の経験、受療の状況と治療結果、歯科保健に対する要望と質問。

5. 調査の方法

各学校の担当者に予め高槻市教育委員会が配布した調査票に、障害のある児童の保護者が記入し、それを各学校の担当者が回収する留置自計方式により行なった。

6. 調査の系統

(財) サンスター歯科保健振興財団－高槻市教育委員会－高槻市立小学校・中学校

7. 結果の集計及び集計客体

集計は(財) サンスター歯科保健振興財団において行なった。

尚、回収客体数及び集計客体数は、次のとおりであった。

回収客体数		
小学校	中学校	計
225	90	315

集計客体数 (単位:人)		
小学校	中学校	計
225	90	315

1. 被調査者数

表1 被調査者数, 性・学年階級別

(人)

	小学校						中学校			総数
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	
男	17	22	38	30	28	29	21	19	23	227
女	15	8	11	11	9	7	9	7	11	88
総数	32	30	49	41	37	36	30	26	34	315

(%)

	小学校						中学校			総数
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	
男	5.4	7.0	12.1	9.5	8.9	9.2	6.7	6.0	7.3	72.1
女	4.8	2.5	3.5	3.5	2.9	2.2	2.9	2.2	3.5	27.9
総数	10.2	9.5	15.6	13.0	11.7	11.4	9.5	8.3	10.8	100

男女比(%)

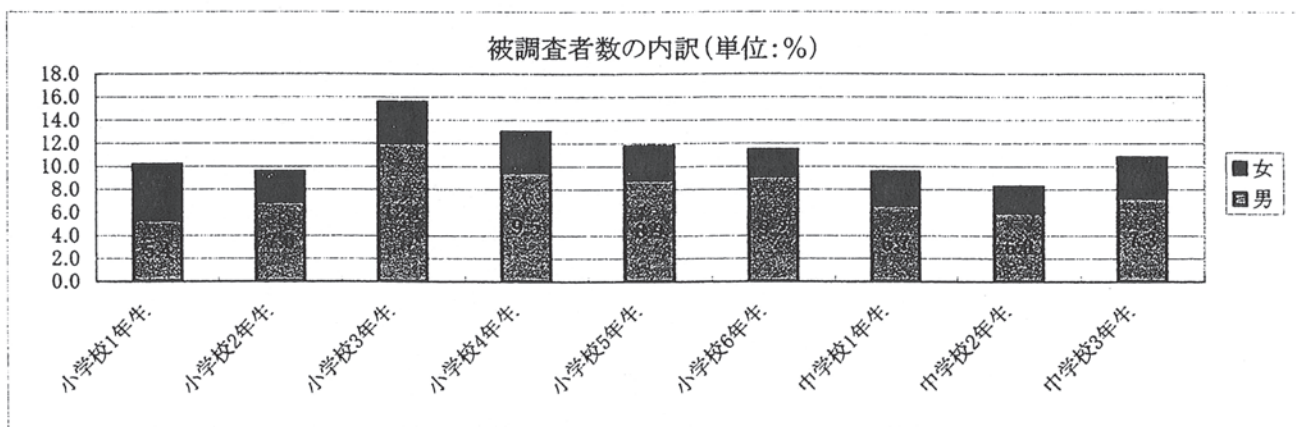
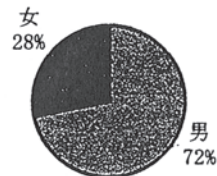
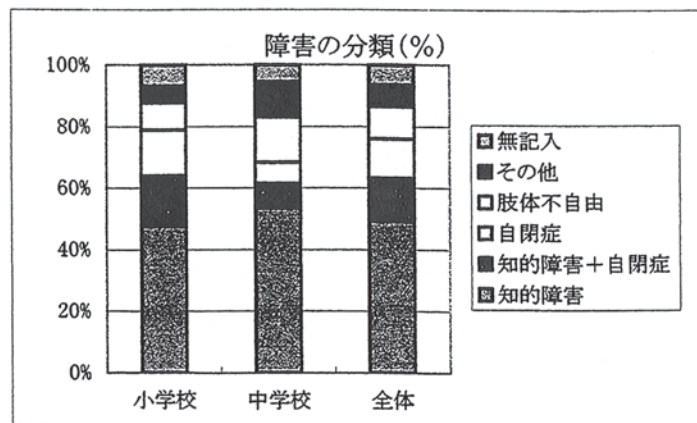


表2 被調査者数, 障害の分類別

(%)

	男			女			全体		
	小学校	中学校	総計	小学校	中学校	総計	小学校	中学校	総計
知的障害	43.3	58.7	47.6	57.4	44.4	53.4	47.1	54.4	49.2
知的障害+自閉症	18.9	9.5	16.3	8.2	7.4	8.0	16.0	8.9	14.0
自閉症	16.5	11.1	15.0	6.6	7.4	6.8	13.8	10.0	12.7
肢体不自由	7.3	12.7	8.8	9.8	25.9	14.8	8.0	16.7	10.5
その他	6.1	3.2	5.3	11.5	11.1	11.4	7.6	5.6	7.0
無記入	7.9	4.8	7.0	6.6	3.7	5.7	7.6	4.4	6.7
総計	100	100	100	100	100	100	100	100	100



被調査者は全体で、315名で、小学校3年生の割合が最も多く15.6%、次ぎに小学校4年生が13%。

男女比は、男72.1%、女27.9%。

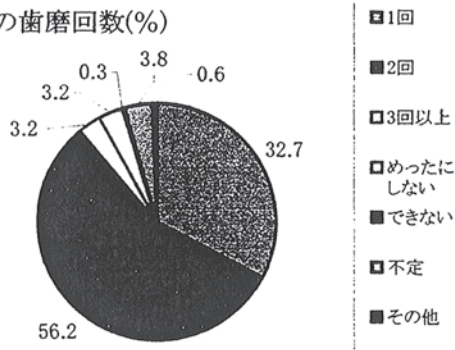
障害の分類別では、男女とも知的障害が最も多く全体で49.2%、次ぎに知的障害+自閉症の14%であった。

2 歯磨きの状況

表3. 1日の歯磨回数の状況

	1回	2回	3回以上	めったにしない	できない	不定	その他	総数
全体	32.7	56.2	3.2	3.2	0.3	3.8	0.6	100.0

1日の歯磨回数(%)

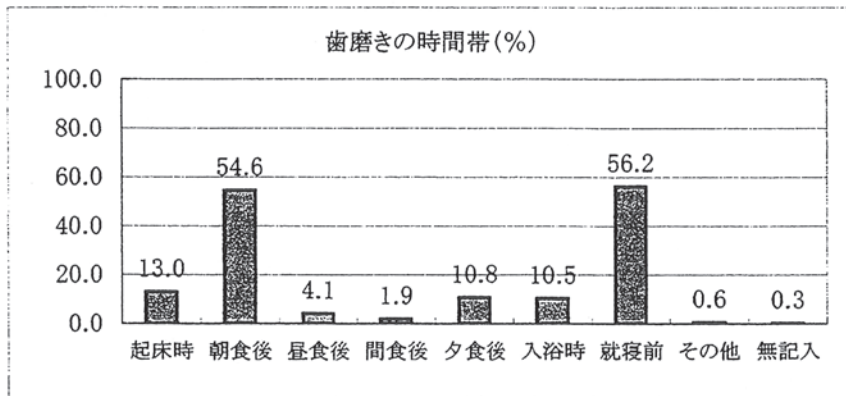


1日の歯磨きの回数は、全体で2回が最も割合が多く56.2%、次ぎに1回の32.7%。全体の1日の平均回数は1.7回。

障害の分類別では、知的障害+自閉症のみが1日1回が最も多く50.0%、毎日歯を磨く群の平均回数は1.5回、その他はすべて1日2回で平均回数が最も多いのは肢体不自由で1.8回であった。

表4 歯磨きの時間帯 (複数回答) (表3)のめったにしない・できない・不定は除く

	起床時	朝食後	昼食後	間食後	夕食後	入浴時	就寝前	その他	無記入
全体	13.0	54.6	4.1	1.9	10.8	10.5	56.2	0.6	0.3

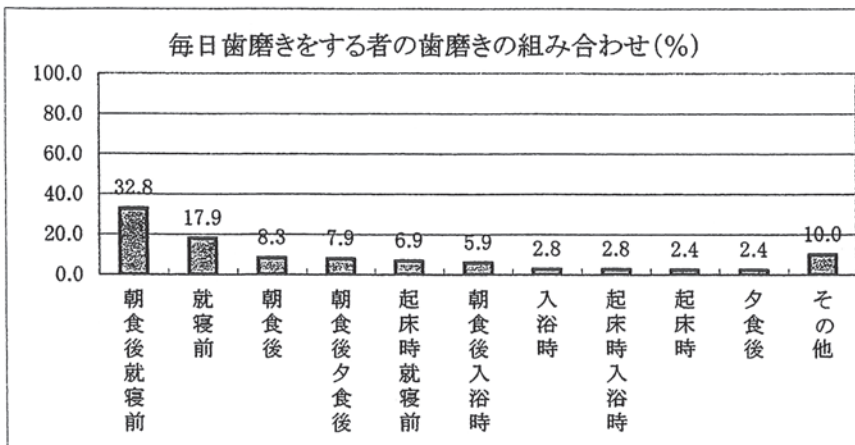


歯磨きの時間帯は、就寝前が最も多く56.2%、次ぎに朝食後が54.6%。

障害の分類別では、自閉症、知的障害+自閉症は就寝前が最も多く、その他は朝食後が最も多かった。

表5 毎日歯磨きをする者の歯磨きの組み合わせ (表3)のめったにしない・できない・不定・無記入は除く

	朝食後 就寝前	就寝前	朝食後	朝食後 夕食後	起床時 就寝前	朝食後 入浴時	入浴時	起床時 入浴時	起床時	夕食後	その他	総計
全体	32.8	17.9	8.3	7.9	6.9	5.9	2.8	2.8	2.4	2.4	10.0	100



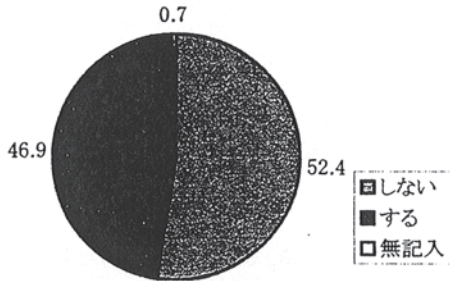
毎日歯磨きをする者の歯磨きの組み合わせは、全体では朝食後と就寝前の2回が最も多く、次は就寝前の1回。

障害の分類別では、知的障害+自閉症は就寝前が32.6%と最も多く、その他は朝食後と就寝前の2回が多くなっている。

表6 歯磨きの介助の状況 (表3)のめったにしない・不定・無記入はのぞく (%)

	しない	する	無記入	総計
全体	52.4	46.9	0.7	100

歯磨きの介助の状況 (%)



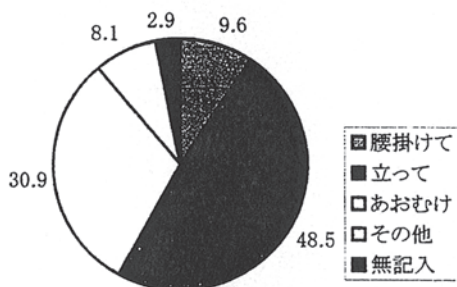
歯磨きの介助の状況は、全体ではしない群が52.4%とする群の46.9%を上回っている。

障害の分類別では、肢体不自由は介助をする群が63.3%と最も多い。

表7 歯磨きの介助の方法 表6の介助をする群の回答 (%)

	腰掛けて	立って	あおむけ	その他	無記入	総計
全体	9.6	48.5	30.9	8.1	2.9	100

歯磨きの介助の方法 (%)



歯磨きの介助の方法は、全体では立ってが48.5%で最も多く、次ぎにあおむけが30.9%。

障害の分類別では、肢体不自由はあおむけで介助をする群が50.0%と最も多く、その他は立ってが最も多い。

表8 歯磨きで困ること(複数回答) 表6の無回答は除く (%)

	特にな	いやがる	うがい	その他	無記入
介助をしない群	84.2	12.5	3.3	13.2	3.3
介助をする群	47.8	25.7	10.3	17.6	7.4
全体	66.6	18.6	6.6	15.2	5.2

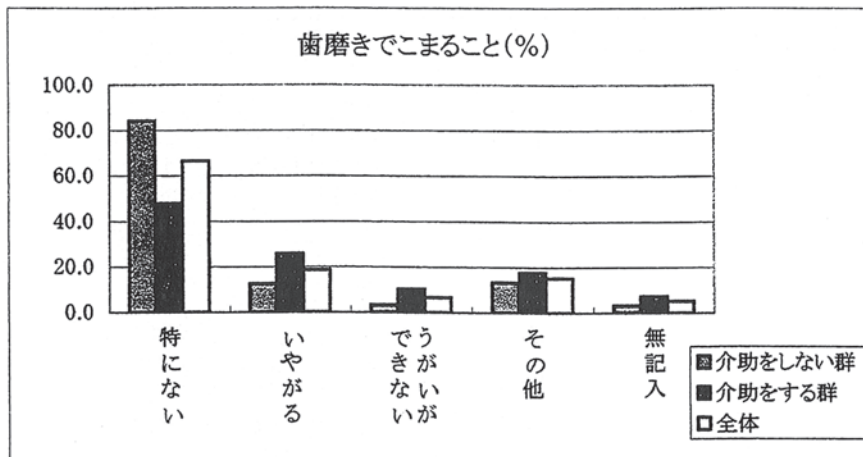
ハミガキで困ることは、全体では特になが最も多く66.6%、次ぎに嫌がるが18.6%。

介助をしない群の方が特になが多い傾向があり、逆に、嫌がるは介助をする群の方が多い傾向がある。

障害の分類別では、いやがるは自閉症で最も多く30.6%、次ぎに知的障害+自閉症が20.9%。
うがいできないは、肢体不自由で最も多く20.0%、次ぎに知的障害が7.7%。

困ることのコメントでは歯磨剤に関するものが22件と最も多く、その他はめんどくさがる(7件)、奥歯の歯磨き(5件)、他人に磨かれるのを嫌がる(5件)。

歯磨きでこまること (%)

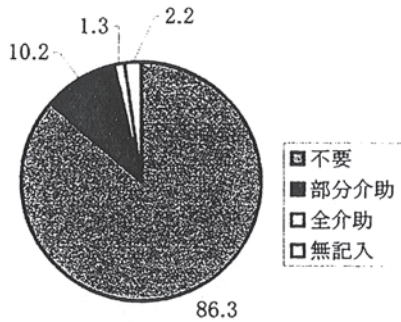


3. 食事と間食について

表9 食事の介助の状況

(%)					
	不要	部分介助	全介助	無記入	総数
全体	86.3	10.2	1.3	2.2	100

食事の介助の状況(%)



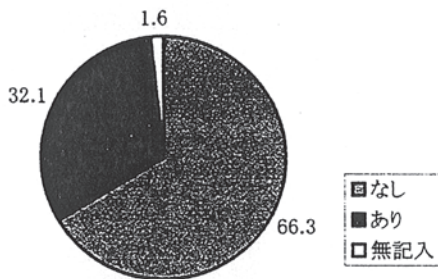
食事の介助の状況では、全体で不要が最も多く86.3%、次ぎに部分介助が10.2%。

障害の分類別では、肢体不自由では全介助が9.1%、部分介助が30.3%、不要が77.3%。不要の割合が自閉症が最も多く92.3%、次ぎに知的障害が92.3%。

表10 極端な好き嫌いの有無

(%)				
	なし	あり	無記入	総数
全体	66.3	32.1	1.6	100

極端な好き嫌いの有無(%)



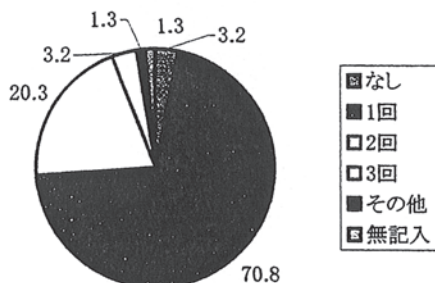
極端な好き嫌いの有無では、全体でなしが66.3%、ありが32.1%。

障害の分類別では、ありの割合が最も多いのが知的障害+自閉症で50.0%、次ぎに自閉症で37.5%。嫌いなもので最も多いのが野菜、その他では魚・果物等。

表11 1日の間食の状況

(%)							
	なし	1回	2回	3回	その他	無記入	総数
全体	3.2	70.8	20.3	3.2	1.3	1.3	100

1日の間食の状況(%)

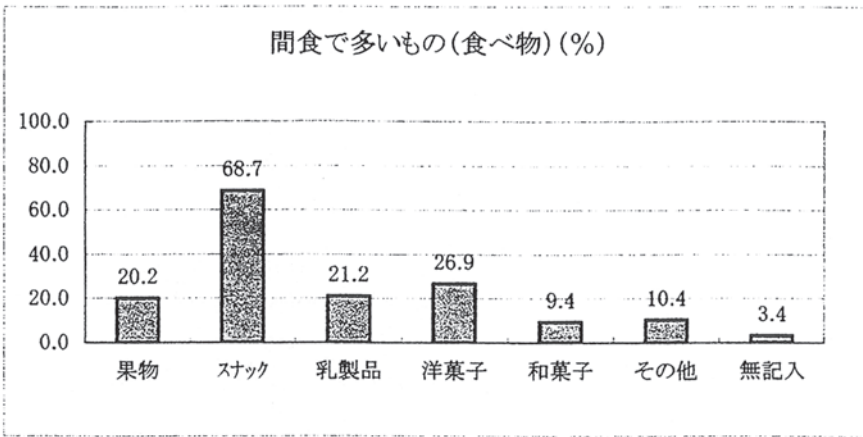


1日の間食の状況では、全体で1日1回が70.8%、次ぎに2回が20.3%。

障害の分類別でも、すべての分類で1日2回の間食が最も多くなっています。

表12-1 間食で多いもの(食べ物)(複数回答) 表9の間食なしとその他、無記入は除く (%)

	果物	スナック	乳製品	洋菓子	和菓子	その他	無記入
全体	20.2	68.7	21.2	26.9	9.4	10.4	3.4

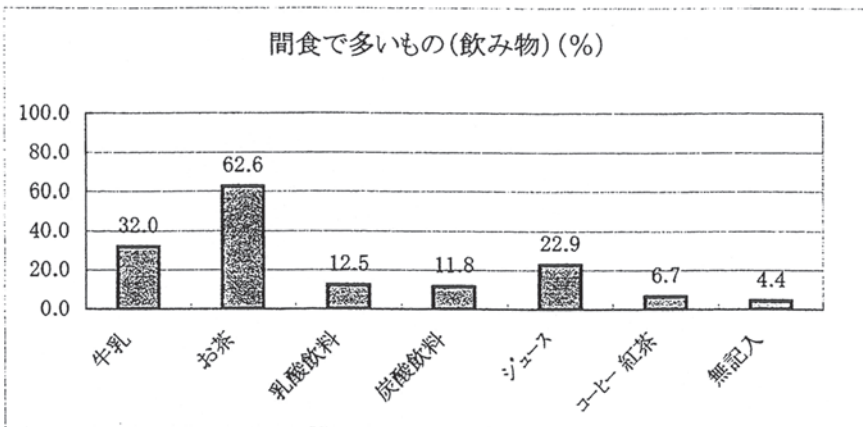


間食で最も多い食べ物は全体でスナックが68.7%、飲み物はお茶で62.6%。

障害の分類別でも、すべての分類でスナックとお茶が最も多くなっています。

表12-2 間食で多いもの(飲み物)(複数回答) 表9の間食なしとその他、無記入は除く (%)

	牛乳	お茶	乳酸飲料	炭酸飲料	ジュース	コーヒー・紅茶	無記入
全体	32.0	62.6	12.5	11.8	22.9	6.7	4.4



コーヒー・紅茶の砂糖使用の有無 (%)

有	無	無記入	総計
70.0	15.0	15.0	100

コーヒー・紅茶の砂糖使用の有無 (%)

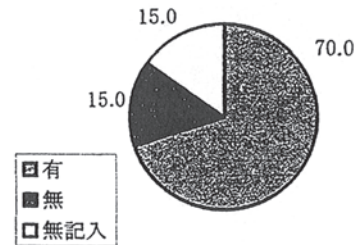
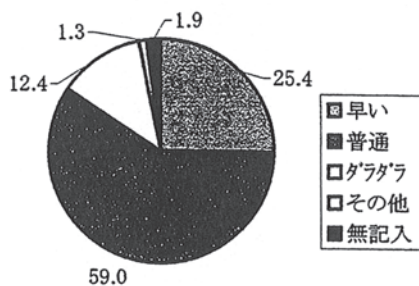


表13 食事・間食にかかる時間の状況

	早い	普通	ダラダラ	その他	無記入	総数
全体	25.4	59.0	12.4	1.3	1.9	100

食事・間食にかかる時間の状況 (%)



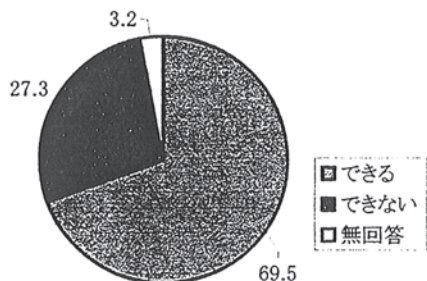
食事・間食にかかる時間の状況では、全体で普通で59.0%、次ぎに早いのが25.4%。

障害の分類別では、知的障害+自閉症のみが早いが最も多く47.7%。その他は普通が最も多くなっています。

表14 かねてたべる状況

	できる	できない	無回答	総数
全体	69.5	27.3	3.2	100

かねて食べる状況 (%)



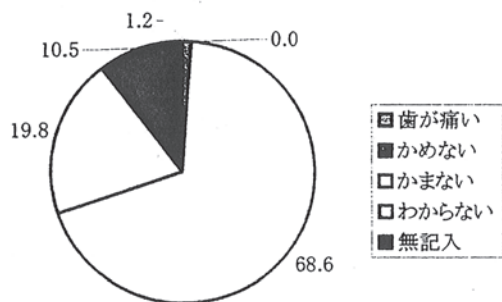
かねてたべる状況では、全体でできるが69.5%、次ぎにできないが27.3%。

障害の分類別では、できないは知的障害が最も割合が多く34.2%。次ぎに知的障害+自閉症が27.3%。

表15 かむことができない理由 表14でかむことができない群の回答

	歯が痛い	かめない	かまない	わからない	無記入	総数
全体	1.2	0.0	68.6	19.8	10.5	100

かむことができない理由 (%)



かむことができない理由では、全体ではかまないが最も多く68.6%、次にわからないが19.8%。

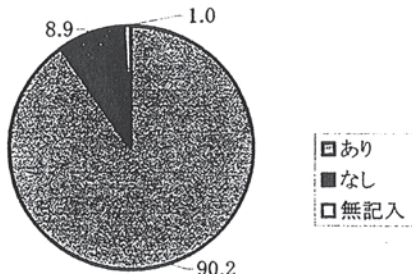
障害の分類別でも、すべての分類でかまないが最も多くなっています。

4. 歯科受診について

表16 過去の歯科受診の経験

	あり	なし	無記入	総数
全体	90.2	8.9	1.0	100

過去の歯科の経験 (%)



過去の歯科受診の経験では、全体ではありが90.2%なしが8.9%。

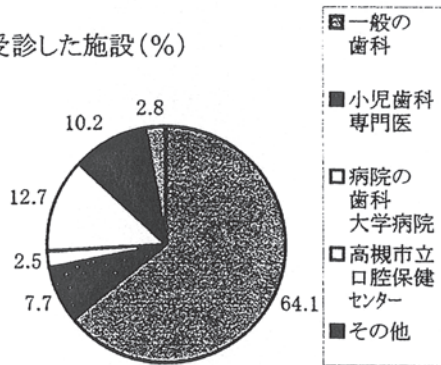
障害の分類別でも、すべての分類で受診ありが多くなっています。

表17 歯科受診した施設

表16で受診経験がある群の回答 (%)

	一般の 歯科	小児歯科 専門医	病院の 歯科 大学病院	高槻市立 口腔保健 センター	その他	無記入	総数
全体	64.1	7.7	2.5	12.7	10.2	2.8	100

歯科受診した施設 (%)



歯科受診した施設では、全体では一般の歯科が最も多く64.1%。次ぎに高槻市立口腔保健センターが12.7%。

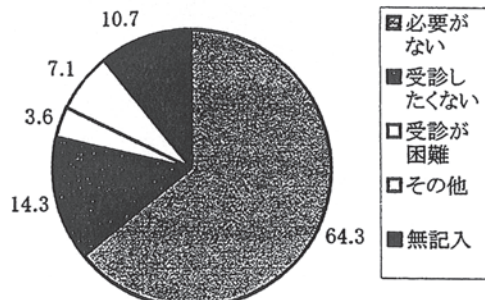
障害の分類別では、知的障害+自閉症では高槻市立口腔保健センターが最も多く31.0%。その他の分類では一般の歯科が最も多くなっています。自閉症では、最も多い一般歯科の63.9%の次ぎに高槻市立口腔保健センターが19.4%。

表18 歯科受診をしない理由

表17で歯科受診の経験がない群の回答 (%)

	必要が ない	受診し たくない	受診が 困難	その他	無記入	総計
全体	64.3	14.3	3.6	7.1	10.7	100

歯科受診をしない理由 (%)



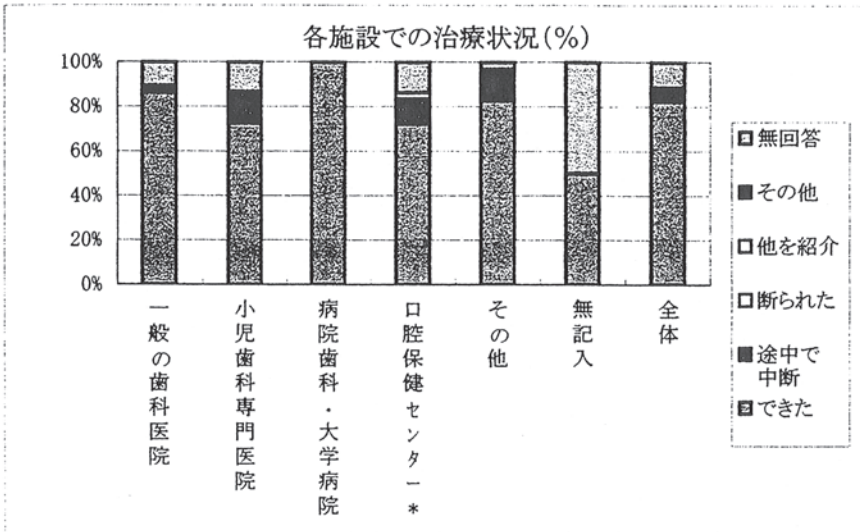
歯科を受診しない理由では、全体では必要がないが最も多く64.3%。次ぎに受診したくないが14.3%。

障害の分類別では、受診したくないは自閉症が最も多く25.0%。次ぎに知的障害が16.7%。

表19 各施設での治療状況 表17で歯科受診の経験がない群と無記入はのぞく (%)

	できた	途中で中断	断られた	他を紹介	その他	無回答	総計
一般の歯科医院	86.3	1.6	0.5	0.5	0.0	11.0	100
小児歯科専門医院	72.7	13.6	0.0	0.0	0.0	13.6	100
病院歯科・大学病院	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
高槻市立口腔保健センター	72.2	11.1	2.8	0.0	0.0	13.9	100
その他	82.8	0.0	0.0	0.0	13.8	3.4	100
無記入	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100
全体	82.4	3.5	0.7	0.4	1.4	11.6	100

各施設での治療状況では全体ではできたが最も多く82.4%。次ぎに無回答が11.6%。

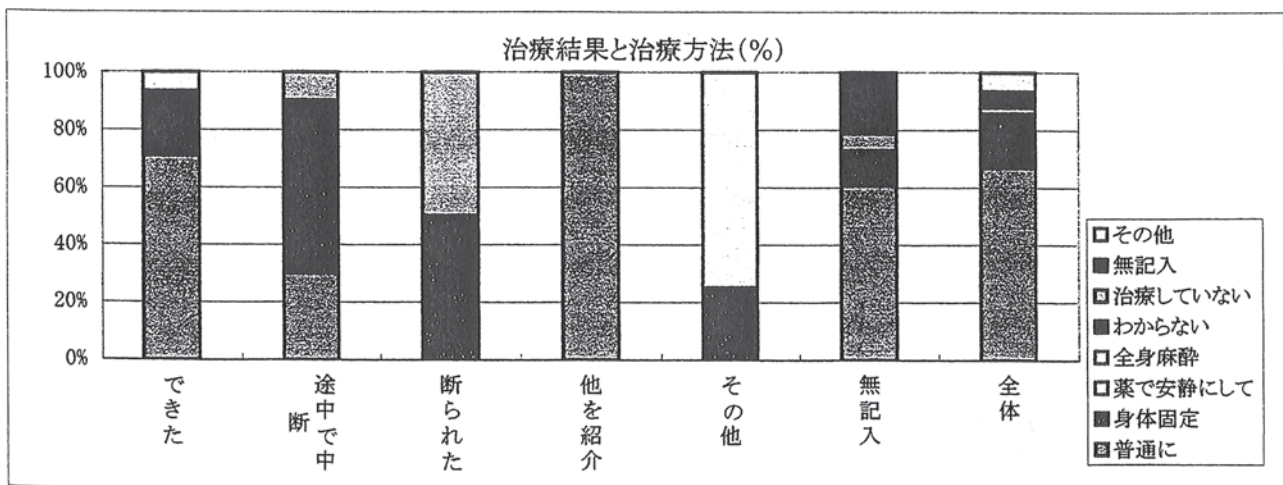


施設別では、すべての分類で治療ができたが多くなっていますが、途中で中断は小児歯科専門医院とが最も多く13.6%。

*高槻市立口腔保健センター

表20 治療結果と治療方法 表17で歯科受診の経験がない群と無記入はのぞく (%)

	普通に	身体固定	薬で安静にして	全身麻酔	わからない	治療していない	無記入	その他	総計
できた	70.9	16.7	0.9	0.0	0.0	1.3	3.4	6.8	100
途中で中断	30.0	50.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	100
断られた	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100
他を紹介	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
その他	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	100
無記入	60.6	12.1	0.0	0.0	0.0	6.1	21.2	0.0	100
全体	66.9	17.6	0.7	0.0	0.4	2.5	5.3	6.7	100



治療結果と治療方法では、全体では普通にが最も多く66.9%。次ぎに身体を固定して治療が17.6%。

治療の方法でのコメントでは、何度も足を運びながら、歯科医院のスタッフとコミュニケーションをとったり、保護者が側にいて安心させたりとの内容が複数みられました。しかし、時間がかかる治療のため保護者としては気をつかうとのことでした。

5. その他、歯科保健に関する質問(要約)

- ①高槻市において、障害児をみてくれる経験豊富な歯科医院の紹介。(10件)
・障害児の特性を理解してほしい。タウンページなどへの掲載等。
- ②高槻市口腔保健センターについて。(8件)
・場所や予約の方法。診療日を増やしてほしい。予約をとりやすくしてほしい等。
- ③電動ブラシや歯磨剤の使用の有無等。(5件)
- ④歯科医院での治療の方法。(2件)
・大きな音をこわがる。鏡を見せながら治療をうけると治療の邪魔になる等。
- ⑤かむことを習慣づける方法。
- ⑥口臭予防。
- ⑦歯肉の痛みや腫れ。
- ⑧歯の矯正について。(2件)
- ⑧フッ素塗布を受ける年数。
- ⑨うがいを教える方法。
- ⑩家庭での歯磨き習慣の定着方法。(2件)
- ⑪唾液がドロツとしている。改善方法があるか。

以上